

薬 第 5 9 4 - 1 号

令和 5 年 1 0 月 2 5 日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 町田 充 様

埼玉県保健医療部長 表 久仁和

(公 印 省 略)

人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について（通知）

保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ヒト免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについては、令和 5 年 4 月 2 4 日付け薬第 9 8 - 1 号でお知らせしたところですが、今般、標記について、令和 5 年 1 0 月 2 0 日付けで厚生労働省医薬局血液対策課から別添（写）のとおりの事務連絡がありましたのでお知らせします。

この通知（写）につきましては、薬務課のホームページに掲載しておりますので、貴会会員にお知らせくださるようお願いいたします。

薬務課ホームページ：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0707/hanbai/r040401~.html>

担当 薬務課販売指導担当

電話 0 4 8 - 8 3 0 - 3 6 2 2

事務連絡
令和5年10月20日

各
都道府県
保健所設置市
特別区
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について

血漿分画製剤の安定供給につきまして、平素よりご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

人免疫グロブリン製剤については、近年の需要の増加により在庫が逼迫し、製造販売業者が限定出荷を実施しております。

令和5年4月19日付け事務連絡「人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて」により、今後の安定供給等についてお知らせしたところですが、一部の医療機関による大量購入等もあり、入手が困難な医療機関が散見されています。

今般、厚生労働省は、令和5年度需給計画を変更し、輸入製剤を追加輸入することとしました。これにより、令和4年度の供給実績（約260万本）を上回る約310万本が令和5年度の製造・輸入量となる見込みです。

厚生労働省は、令和6年度以降も人免疫グロブリン製剤の安定供給の確保に務めてまいります。血漿分画製剤は、製造に時間を要すること、献血由来の製品であるため製造本数に限りがあることから、安定供給に向け、貴管下関係医療機関、医薬品卸売販売業者等へ周知をお願いいたします。

令和5年度需給計画の変更箇所（人免疫グロブリン製剤）

（2.5g換算 単位：本）

| | 需要見込 | 計 | 製造・輸入目標量 | | | 令和4年度末在庫量（見込） | 供給可能量 |
|-----|------------------|------------------|-----------|----------------|--------|---------------|------------------|
| | | | 国内血漿由来 | 輸入血漿由来 | 遺伝子組換え | | |
| 変更後 | <u>2,731,600</u> | <u>3,105,700</u> | 2,386,600 | <u>719,100</u> | — | 623,000 | <u>3,728,700</u> |
| 変更前 | <u>2,572,000</u> | <u>2,886,800</u> | 2,386,600 | <u>500,200</u> | — | 623,000 | <u>3,509,800</u> |

※下線は変更箇所

